

侵入を警戒している主な有害動植物

我国に輸入される植物は、病害虫の侵入を防止するため植物防疫法にもとづき、検疫措置がとられています。特に重要な病害虫については、発生地域から寄主植物の輸入が禁止されるなどの厳重な検疫が行われています。

(社)全国植物検疫協会「侵入警戒病害虫スライド集」(植物防疫所原園)から抜粋



チチュウカイミバエ

学名:*Ceratitis capitata*
 英名:Mediterranean fruit fly
 広範な果実果菜類の大害虫。
 雌成虫は果皮の内側に産卵し、幼虫は果肉を食害する。
 アフリカ・ヨーロッパ・西アジア・南アメリカなどに分布。
 成虫の体長4.5~5.5mm



ミカンコミバエ

学名:*Bactrocera dorsalis* Species Complex
 英名:Oriental fruit fly, Mango fly
 カンキツ類ほか多種類の果実の大害虫。
 雌成虫は果皮の内側に産卵し、幼虫は果肉を食害する。
 東南アジア・ミクロネシア・ハワイなどに分布。
 成虫の体長約7.5mm



果実内を食害している幼虫



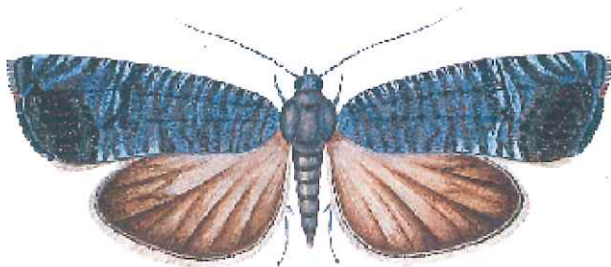
クインズランドミバエ

学名:*Bactrocera tryoni*
 英名:Queensland fruit fly
 カンキツ類、サクランボ、パパイヤ、マンゴウ、ブドウなど100種以上の果実の大害虫。
 雌成虫は果皮の内側に産卵し、幼虫は果実の中心部に向かって食害する。
 オーストラリアなどの大洋州に分布。
 成虫の体長約6mm



ウリミバエ

学名:*Bactrocera cucurbitae*
 英名:Melon fly
 ウリ類ほか、多種類の果実の大害虫。
 雌成虫は果皮の内側に産卵し、幼虫は果皮の下を食害し、成長するにつれて果実の中心部に移り食害する。
 東南アジア・中国・インド・ハワイなどに分布。
 成虫の体長約6~8mm



コドリンガ

学名:*Cydia pomonella*
 英名:Codling moth
 リンゴ、モモ、ナシなどの大害虫。
 成虫は未熟果やその近くの葉面に産卵し、幼虫は果実内部を食害する。
 アジア・ヨーロッパ・アメリカ・アフリカなど広範囲に分布。
 成虫は体長7~9mm、開張時18~22mm



アリモドキソウムシ

学名:*Cylas formicarius*
 英名:Sweet potato weevil
 サツマイモの大害虫。
 成虫が葉や塊根の表面を食害することもあるが、特に幼虫による被害が甚だしい。
 東南アジア・アフリカ・北アメリカなどに分布。
 成虫の体長6~7mm



ジャガイモがんしゅ病菌

学名:*Synchytrium endobioticum*
 英名:Potato wart, Warty disease
 ジャガイモの恐ろしい病気。
 病原菌の休眠胞子が長年にわたり土壌中に生存する。
 ヨーロッパ・北アメリカ・中南アメリカなどに分布。

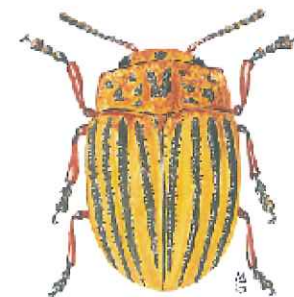


ジャガイモの根に付着している雌の成虫



イモソウムシ

学名:*Euscepes postfasciatus*
 英名:West Indian sweet potato weevil
 サツマイモ、ヒルガオ属植物などの大害虫。
 成虫は葉や塊根を食害するが、被害は主として幼虫による食害である。
 西インド諸島・北及び南アメリカ・ミクロネシア・ハワイなどに分布。
 成虫の体長3~4mm



コロラドハムシ

学名:*Leptinotarsa decemlineata*
 英名:Colorado potato beetle
 ジャガイモ、ナス、トマタなどナス科植物の大害虫。
 幼虫・成虫ともに地上部を食害する。
 北アメリカ・ヨーロッパ・西アジアなどに分布。
 成虫の体長約10mmの半球形。

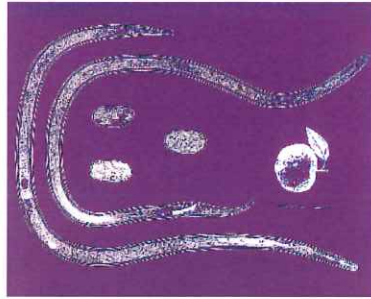
ジャガイモシストセンチュウ

学名:*Globodera rostochensis*
 英名:Potato cyst nematode
 ジャガイモなど、ナス科植物の大敵。
 地上部の被害は現れにくい。多数の寄生を受けると頂葉だけを残り、「毛ばたき」症状となって枯死する。
 南アジア・アメリカ・ヨーロッパなどに分布。
 雌の成虫は長さ0.8mm、幅0.7mm内外の洋梨形。



タバコベと病菌

学名: *Peronospora tabacina*
 英名: Tobacco blue mold
 タバコにとって最も危険視される病気。
 病原菌はカビの一種で、伝染性が極めて強い。
 北アメリカ・中・南アメリカ・中近東・ヨーロッパなどに分布。



カンキツネモグリセンチュウ

学名: *Radopholus citrophilus*
 英名: Citrus burrowing nematode
 多種類の植物、特にカンキツ類に大害を与える線虫。根や地下塊茎内に侵入し、細胞壁を破って養分を吸収するので、根の表面がえ死状態になり、根の伸長が妨げられる。甚だしい場合は、植物全体が枯死する。アメリカ・ハワイなどに分布。
 成虫の体長は雌0.65~0.75mm、雄0.53~0.65mmの糸状。



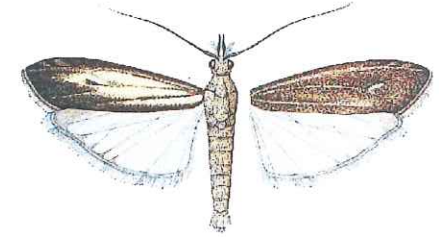
ヘシアンバエ

学名: *Maveitola destructor*
 英名: Hessian fly
 ムギワラ、カモジグサ属植物の大害虫。
 幼虫が寄生植物の汁液を吸取して加害する。
 西アジア・ヨーロッパ・北アメリカなどに分布。
 成虫の体長2~3mm



テンサイヨコバイ

学名: *Neotalurus tenellus* (*Circulifer tenellus*)
 英名: Beet leafhopper
 テンサイ、ホウレンソウ、トマト、メロン、ジャガイモ、まめ類等多種多様の作物及び、観賞用植物などに寄生。
 本虫は、吸汁による被害よりも、Beet curly top virus (BCTV) や Spiroplasma citri など病原菌の媒介者として恐れられている。
 西アジア・ヨーロッパ・北・中南アメリカ・北アメリカなどに分布。
 成虫はさび形で体長(翅端まで)3.0~3.5mm



モロシマダラメイガ

学名: *Elasmopalpus lignosellus*
 英名: Lesser corn stalk borer
 トウモロコシ、サトウキビ、モロシその他のイネ科植物、インゲン、ダイズ、ラッカセイなどのまめ類、カブなどに寄生。
 幼虫が、トウモロコシなどの茎や地際部に穴をあけて食入するため、被害は大きい。
 北アメリカ・中央アメリカ・南アメリカなどに分布。
 成虫は翅の開張17~22mm



火傷病菌

学名: *Erwinia amylovora*
 英名: Fire blight
 ナシ、リンゴ、ナナカマドなどバラ科植物に著しい被害を及ぼす細菌による病気。
 本病に侵された花や若枝に着生した菌は急に黒くおぼれて、水浸状になり、次第に褐色から黒変し、火傷に似たような外観を呈し、樹全体が枯死する。
 ヨーロッパ・北アメリカ・アジア・北アフリカなどに分布。



リンゴミバエ

学名: *Rhagoletis pomonella*
 英名: Apple maggot
 リンゴ、アンズ、モモ、ヨーロッパスモモ、セイヨウナシ、洋バラ科植物の果実に寄生する害虫。
 幼虫が果肉内を食害する。
 北アメリカに分布。
 成虫の体長約5mm

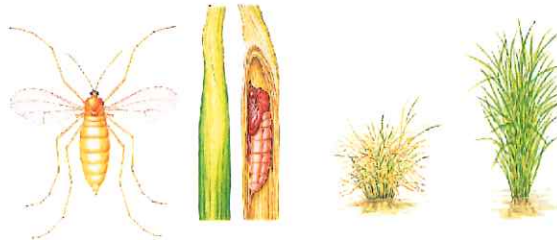


ナタールミバエ

学名: *Ceratitis rosa*
 英名: Natal fruit fly
 カンキツ類、モモ、ナシ、リンゴ、アゴカなど多種類の果実の大害虫。
 ナチュウカミバエによく似ており、果実の表皮下に産卵。果実は幼虫が食入することによって、腐敗する。
 アフリカに分布。
 成虫の体長4~5mm

イネノシントメタマバエ

学名: *Orseolia oryzae*
 英名: Rice gall midge
 イネ、野生イネ等の大害虫。
 幼虫がイネの成長点に食入し虫えい(ゴール)を作るため、穂が形成されなくなる。本病が大発生すると収穫は皆無となる。
 中国大陸南部・東南アジアなどに分布。
 成虫は体長3.5~4.8mm



スモモゾウムシ

学名: *Conotrachelus nemophila*
 英名: Plum curculio
 モモ、スモモ、アンズ、ネクタリン、リンゴ、オウトウなど核果類の害虫。
 果実の表面に三日月状の傷を作り産卵。ふ化した幼虫が果実内に食入し、果肉を食害する。
 北アメリカに分布。
 成虫の体長5mm前後